

V I S U A L I Z E T H E F U T U R E



第10回 定時株主総会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2012年6月26日



DMPについて

(会社概要、沿革)

設立： 2002年7月

事業内容：

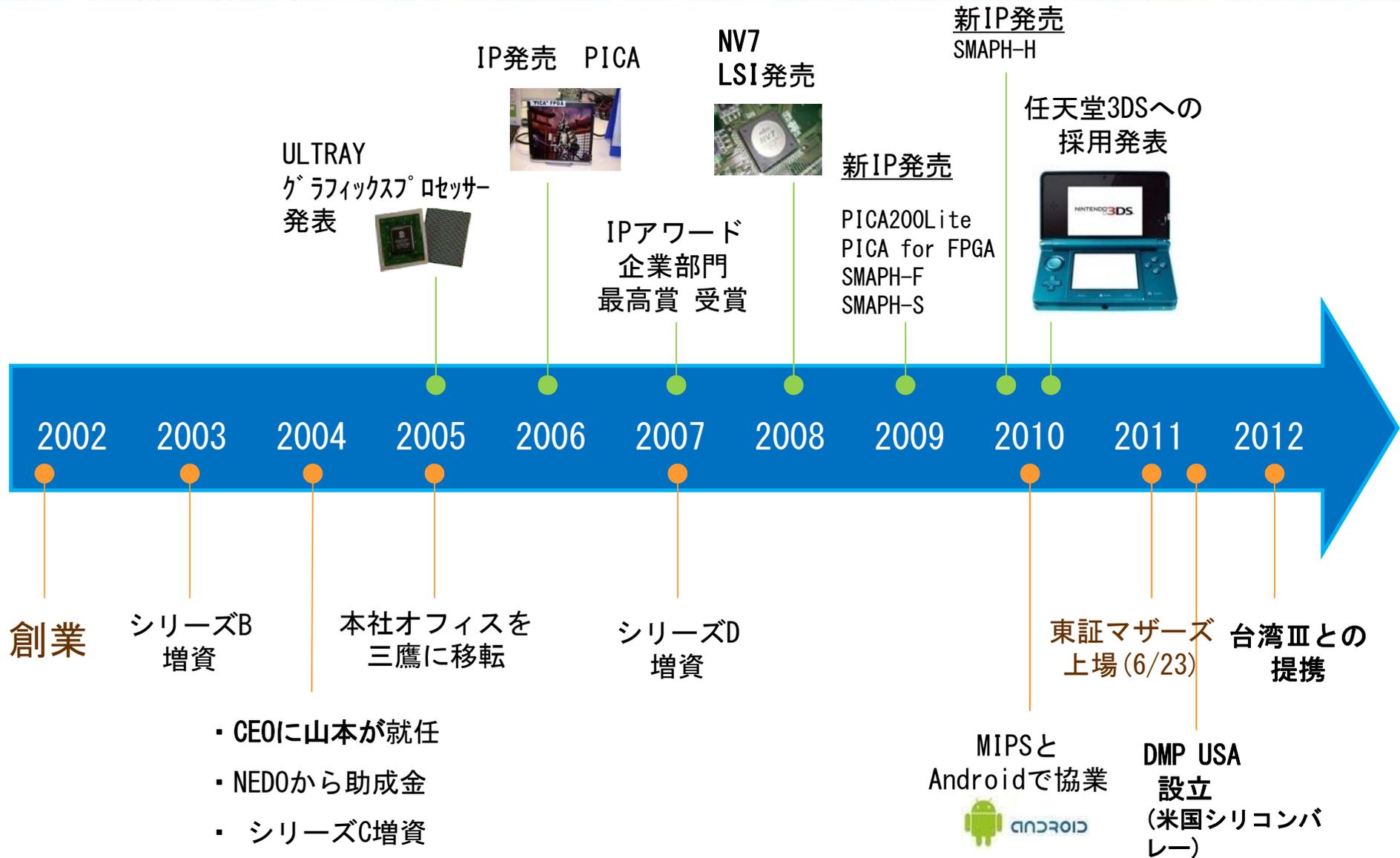
1. 3D/2DグラフィックスIPのライセンス
2. 3DグラフィックスLSIの開発・販売
3. グラフィックス関連教育事業

従業員数： 29名（2012年5月現在）

特許等： 日米欧において58件の特許申請済み
成立30件（2012年5月現在）

DMPの歩み

VISUALIZE THE FUTURE



DMPの競合優位性について

DMPの競合優位性

01 消費電力を大幅に低減

02 グラフィックチップの大幅な小型化

03 高解像度なグラフィックスを実現

1. 消費電力を大幅に低減

VISUALIZE THE FUTURE



据え置き型のゲーム機の 設置台数は世界で1億台以上

* 2012年現在

仮に1台あたり約100ワットの
電力を必要とした場合、

総消費電力数は
原発20基相当に

10ギガワット
を必要とする

1. 消費電力を大幅に低減

VISUALIZE THE FUTURE



パソコン、スマートフォン、ゲーム機などの
処理能力が高くなれば、その分、必要とする
消費電力も多くなる



- 必要な消費電力の増加



- バッテリーの駆動時間の低下



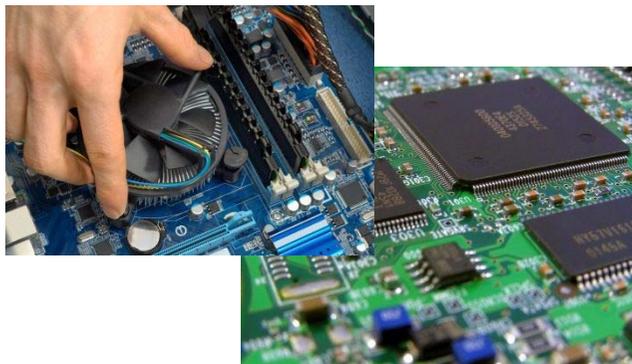
1. 消費電力を大幅に低減

DMPの技術を組み合わせると
処理にかかる消費電力が大幅に低減

消費電力

性能比にして

従来の製品では、消費電力が
高く排熱のためのファン等が必要



DMPのグラフィックスを
使うと、排熱のための
ファンを必要としない



30倍～

* MAESTROを使用した場合の試算

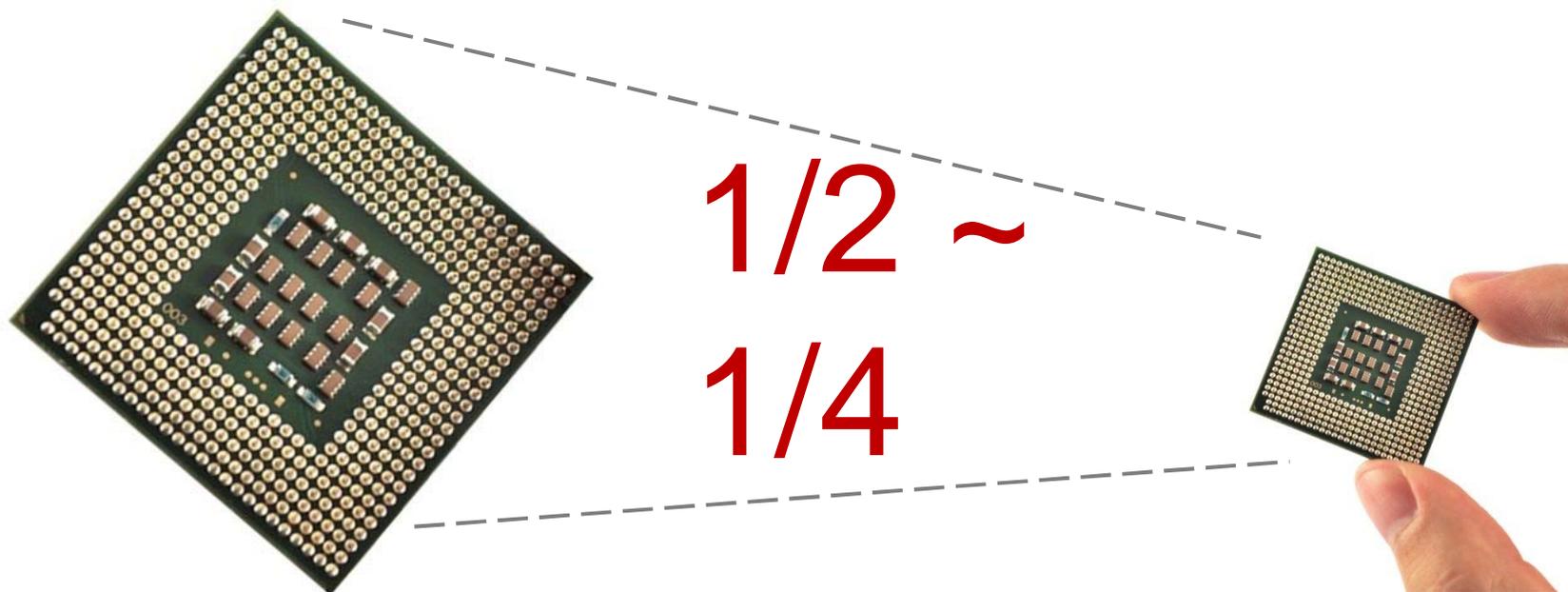
2. グラフィックチップの大幅な小型化

VISUALIZE THE FUTURE



従来のグラフィックチップに比べ大幅な
小型化を実現

面積比（グラフィックス部分）にして



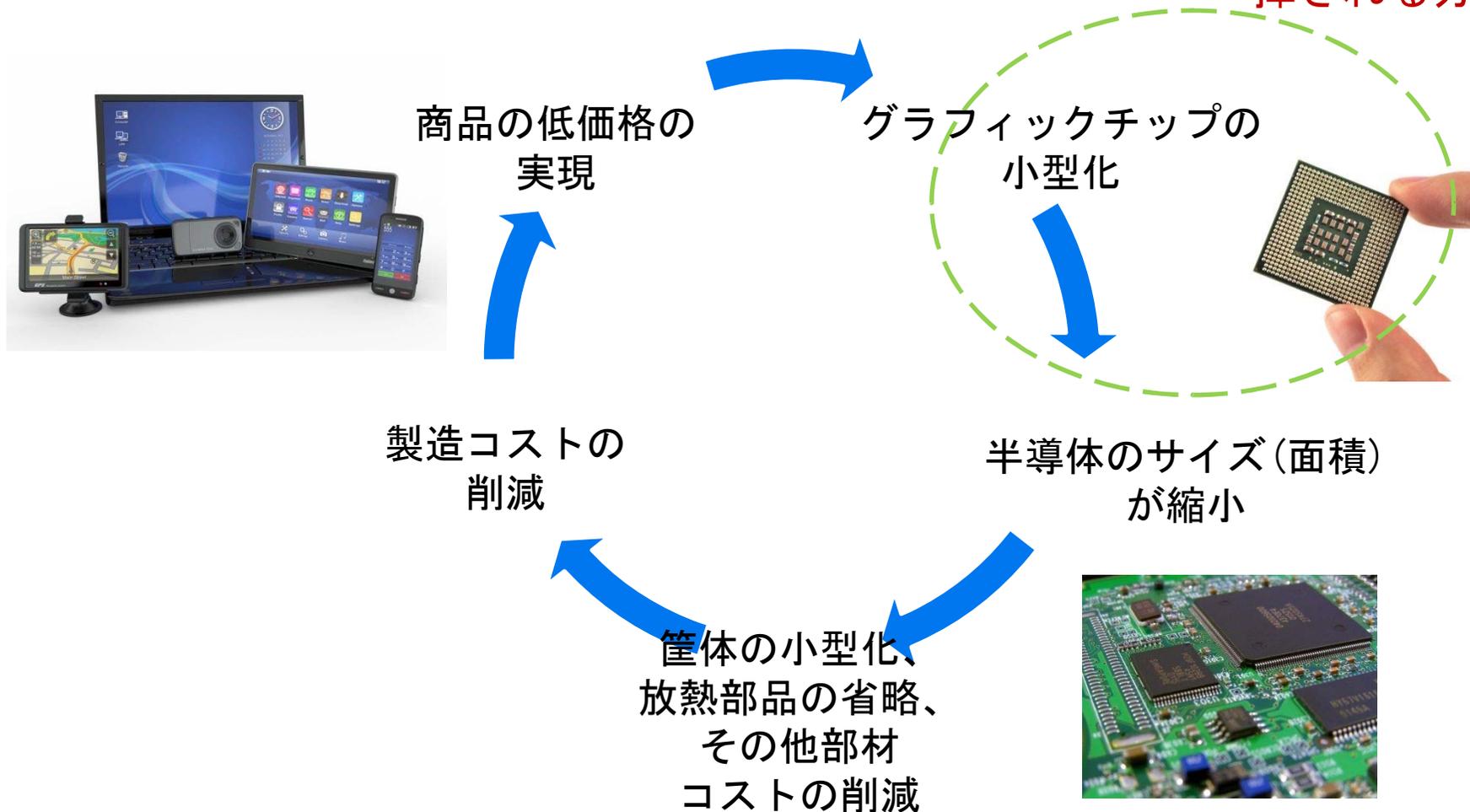
2. グラフィックチップの大幅な小型化

VISUALIZE THE FUTURE



半導体チップのコストは基盤の
サイズ(面積)が、製造コストに大きく影響する

DMPの技術力が発
揮される分野



3. 高解像度なグラフィックスを実現

VISUALIZE THE FUTURE



当社の独自のグラフィックス技術を採用した場合の比較

MAESTRO™ なし

MAESTRO™ あり



侍の鎧や金属面のボディが
不鮮明で、リアリティーに乏しい

侍の鎧や金属面のボディが
鮮明になり、リアリティーが高まる 12

3. 高解像度なグラフィックスを実現

VISUALIZE THE FUTURE



DMPの技術は、**低消費電力**、**小サイズ**、
そして**高いグラフィックス性能**を実現。

任天堂 岩田社長のコメント DMPのチップを採用した理由を訊かれて、

「消費電力」と「表現力」のバランスが良いと思ったからです。

解像度比にして

3倍

さらに本格的3D
グラフィックスを実現



旧DSモデル

解像度 9万8,304ピクセル



3DSモデル

解像度 26万8,800ピクセル



DMPを取り巻く環境について

- 国内 -

- ▶ 2011年度は円高、災害等の影響でCEメーカー中心に開発案件減少、先送りが目立つ
- ▶ 国内半導体ベンダーのスマートフォン向けシステムLSI参入が遅れる
- ▶ 2012年度はCEメーカー、組み込み機器メーカーなどの開発意欲が盛り返す

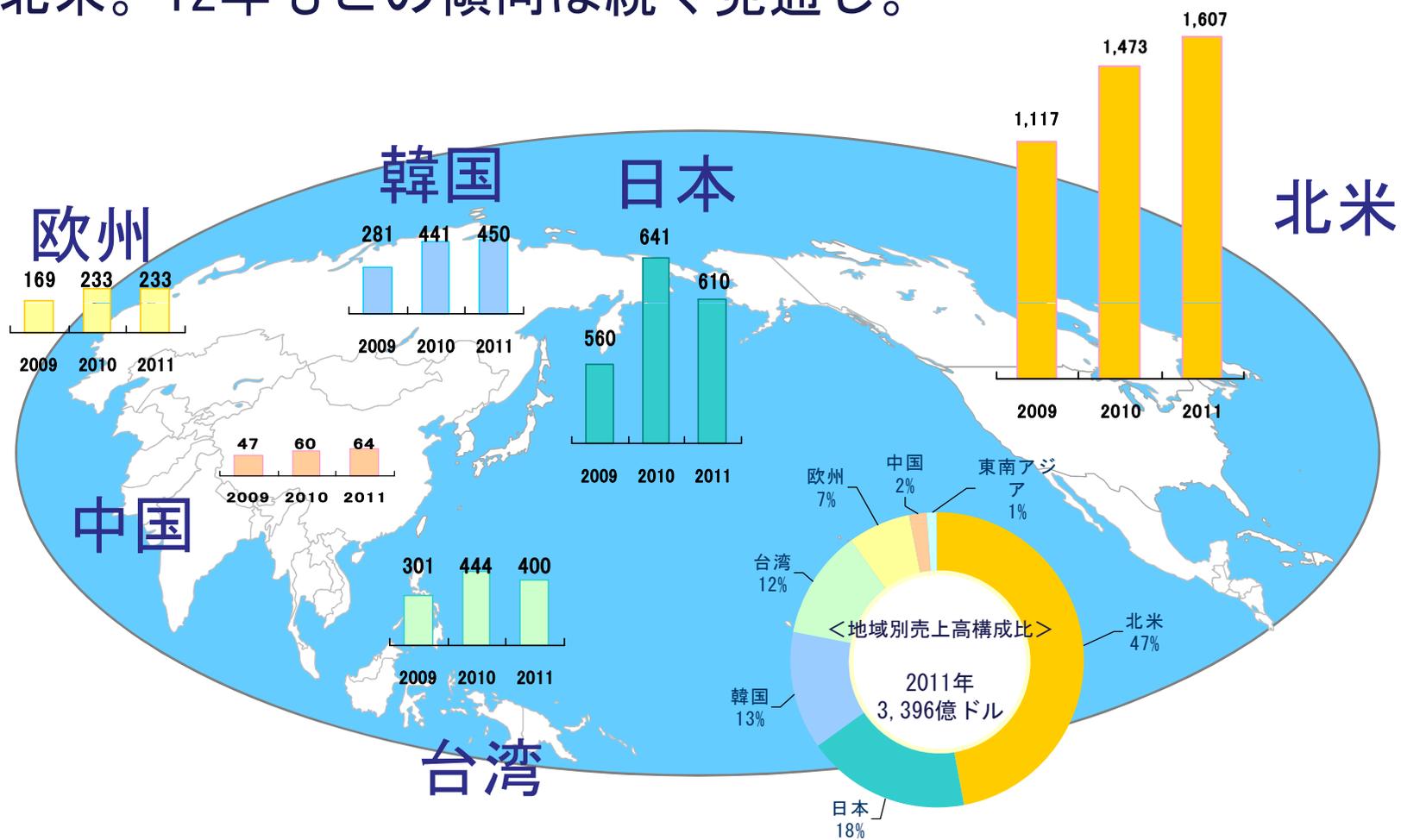
— 海外 —

- ▶ 米国：スマートフォン、タブレット向けシステムLSI開発が活発
- ▶ 中国・台湾：ローエンドスマートフォンやスマートTV向けシステムLSI開発が活発
- ▶ 韓国：国内電機セットメーカーの成長で内需を中心にLSI開発が旺盛

2011年 世界半導体市場の推移

国・地域別で最も高い成長を示したのは
北米。12年もこの傾向は続く見通し。

(単位：億ドル)

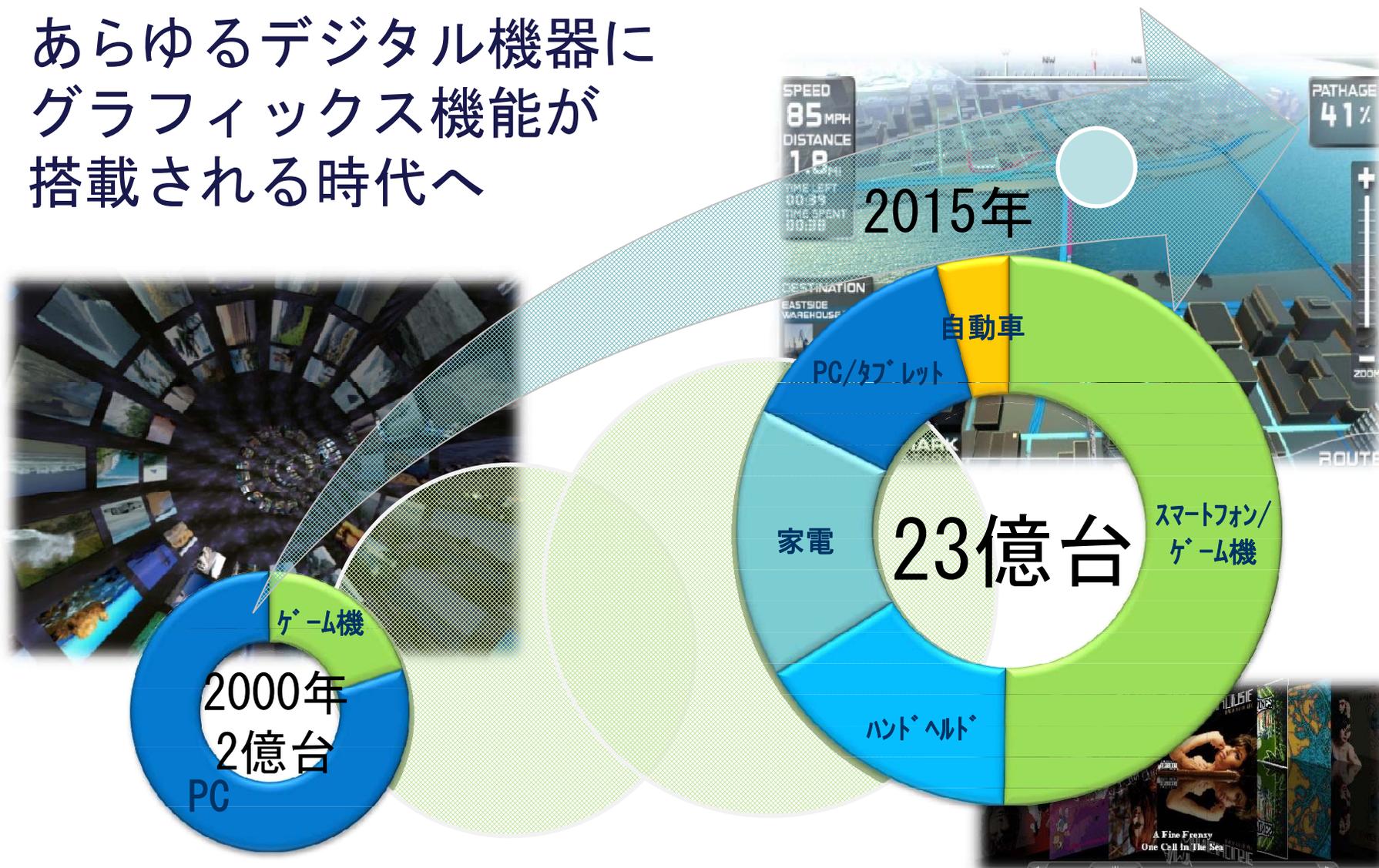


急速に拡大するグラフィックス市場

VISUALIZE THE FUTURE

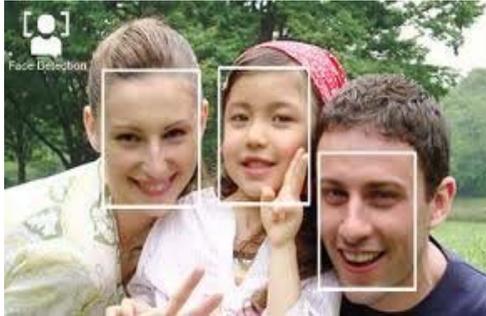


あらゆるデジタル機器に
グラフィックス機能が
搭載される時代へ



* DMP調査

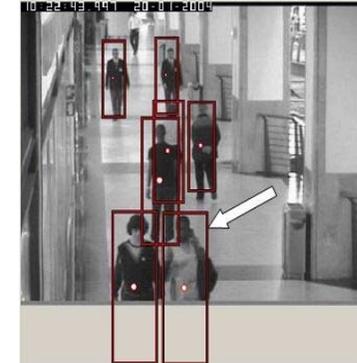
グラフィックス・プロセッサの利用が 今後画像演算処理などコンピューティング分野にも拡大



顔認識



自動車安全システム



セキュリティー



ジェスチャー認識



ピクチャー検索



DMPの今後の戦略について

成長する地域に開発・販売体制を確立

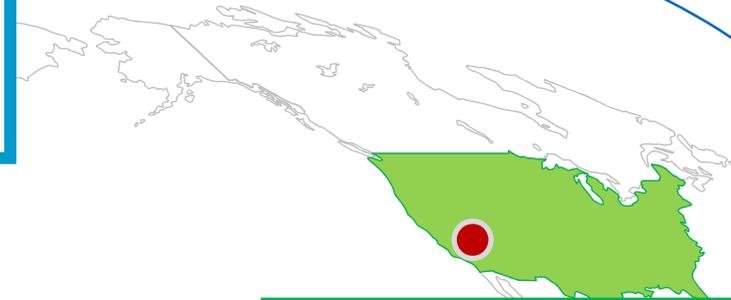
日本

- ・ コア技術の開発
- ・ 国内顧客への販売・サポート
- ・ 海外子会社・パートナーのサポート
- ・ サードパーティーとのアライアンス



台湾/中国

台湾の政府系シンクタンクである「財団法人資訊工業策進會」(Institute for Information Industry) との開発および
販売提携



グローバル

- 米国シリコンバレーに拠点を設立
- ・ グローバルな開発体制
 - ・ 海外顧客の獲得
 - ・ 海外有力企業との関係性の強化

世界の有力半導体メーカーとの 提携を積極的に推進



受注済み案件：現在 **5 顧客** で新規SoC開発中

顧客A	2013/3月期
顧客B	2013/3月期
顧客C	2014/3月期
顧客D	2014/3月期
顧客E	2015/3月期

今期は国内の他、海外顧客の開拓にも注力

米国： 12年1月よりDMP USA稼働

アジアパシフィック： 12年6月より本格的な営業活動開始

12ヶ月-

SmartPhone

Smart TV

SmartPhone

SmartPhone/Tablet

Smart TV

Smart Phone

Smart TV/STB

SmartPhone

0-12ヶ月

Tablet

Smart TV

Industrial

海外リード顧客
(米国/アジアパシフィックエリア)





2013年3月期 通期見通しについて

2013年3月期 決算の見通し

(百万円)

項目	13/03期 通期予想	12/03期 通期実績	増減	前年同期比 (%)
売上高	1,100	1,044	56	5.3
営業利益	230	319	△89	△28.0
経常利益	220	302	△82	△27.3
当期純利益	220	188	32	16.8

2013年3月期 事業別の売上高

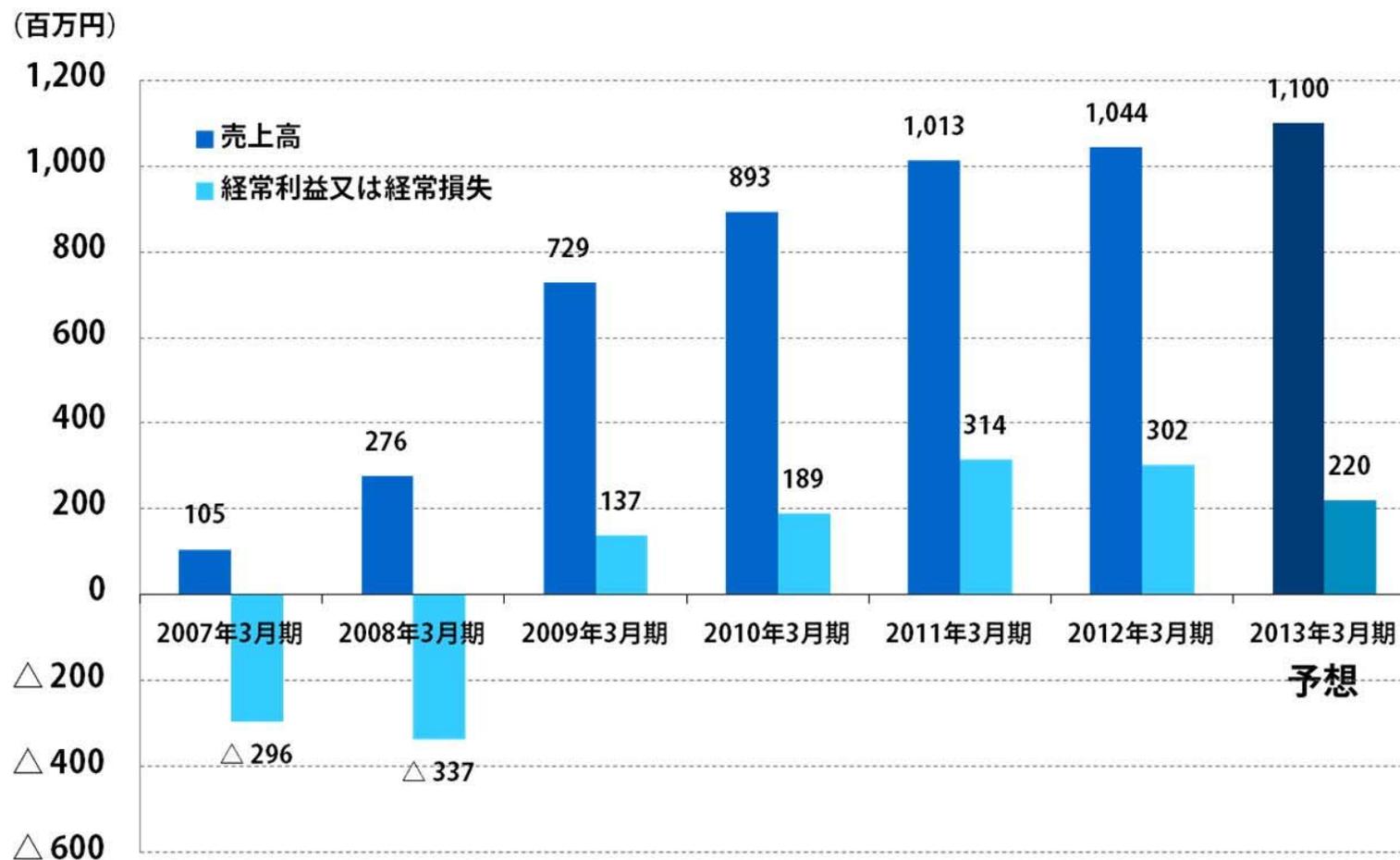
(百万円)

項目	前期実績 (A)	計画 (B)	増減 (B-A)	前期比 (%)
LSI製品事業	8	100	92	1,150.0
IPコアライセンス事業	853	996	143	16.8
その他の事業*	183	4	△179	△97.8
売上高	1,044	1,100	56	5.3

* その他の事業にIPコアライセンスに係る受託開発を含んでおります。

業績の推移

VISUALIZE THE FUTURE





日本から世界へ

Visualize the Future

無限のイノベーションの可能性を持つグラフィックスの世界で、
常に独創的なアイデアで製品開発を行い世界のリーダーを目指します。

決議事項

取締役5名選任の件

議案 取締役5名選任の件

- 取締役候補者氏名 -

- | | |
|----------|----------|
| 1. 山本 達夫 | 4. 大淵 栄作 |
| 2. 古川 聖 | 5. 岡本 伸一 |
| 3. 岩田 茂人 | |



以上を持ちまして、
株式会社デジタルメディアプロフェッショナル
第10回定時株主総会を終了させていただきます。
円滑な議事運営にご協力いただきまして、誠に
ありがとうございました。

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保障するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。